



平成30年6月1日

構造材料つくばオーブンプラザ／インフラ構造材料クラスター

第11回 インフラ構造材料クラスターセミナー
(構造材ゼミ090)

議事次第 (案)

日時：平成30年6月26日(火) 15:00～16:30

場所：物質・材料研究機構 つくば千現地区先進構造材料研究棟5階 カンファレンスルーム

開催趣旨：

当拠点のインフラ構造材料クラスターでは、コンクリートを主体とするインフラ構造物における損傷劣化機構の解明、及びインフラ維持管理の低コスト化に資する技術開発について、関連分野の第1線で活躍中の研究者、技術者を招いてセミナーを開催しています。

今年度最初、第11回目と致しまして、内閣府「SIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術」課題の専門委員であります、土木研究所 先端材料資源研究センター顧問 の魚本先生にご講演を頂きます。

題目：「コンクリート製土木構造物の耐久性に関する考察(仮題)」

土木研究所 先端材料資源研究センター (iMaRRC) 顧問
SIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術 専門委員

魚本 健人 様

要旨：

1970年代から1990年代に建設された大半のコンクリート構造物が老朽時期を迎えるにあたりこれらをうまく活用することが今後の課題であり、このためには既存構造物の安全性を評価し必要に応じて補修・補強を施しつつ、100年、200年と利用できるような計画と実施が必要である。以上のような我国の現状を踏まえ、コンクリート製土木構造物の耐久性の点から、構造物の安全性確保のためにどのような技術、材料や検査が重要であるかを考察する。

以上

世話人 構造材料研究拠点 運営室 堤 直人